

# 令和5年度 刈谷市 共存・協働のまちづくり推進委員会

## 第1回全体会議 記録

日時：令和5年5月17日（水）

午後2時00分～3時30分

場所：刈谷市役所 3階301会議室

### 出席者

団体名・役職等	氏名
愛知大学 教授	鈴木 誠
愛知淑徳大学 助教	熊澤 友紀子
刈谷市自治連合会	大野 裕史
刈谷市女性の会連絡協議会 会計	加藤 文子
一般社団法人まちづくり支援センター 代表理事	塚本 裕章
刈谷市ボランティア連絡協議会 会長	矢田部 寿子
NPO 法人刈谷おもちゃ病院 理事長	三輪 恒雄
文化工房かりや 代表	久保田富士子
防災ママかきつばた 代表	高木 一恵
一般公募	石田 彰宏
一般公募	岡 由香
一般公募	水鳥 幸子
刈谷市民ボランティア活動センター センター長	米田 正寛
市民活動部長	近藤 和弘

### 欠席者

刈谷市小中学校長会	細川 圭子
刈谷市商店街連盟 専務理事	柘植 祥史

### 事務局

所 属	補 職 名	氏 名
市民活動部市民協働課	協働推進監兼市民協働課長	渡部 貴美子
市民活動部市民協働課	課長補佐兼協働推進係長	小原 崇照
市民活動部市民協働課	主事	内藤 佑佳
市民活動部市民協働課	主事	前川 和奏
NPO法人ボランティアネイバース	副理事長・調査研究部長	三島 知斗世
NPO法人ボランティアネイバース	理事・事務局長	遠山 涼子

## 1 開会・あいさつ・自己紹介

・定刻になり、市民協働課課長が開会を宣した後、資料確認と委員による自己紹介を行った。（略）

## 2 議題

### (1) 委員長・副委員長選出

委員長に鈴木誠氏、副委員長に米田正寛氏が選出され、承認された。両氏より就任の挨拶が行われた。

## 委員長あいさつ

- ・協働の指針・政策に関して、平成の大合併当時から協働の条例や指針の策定に携わってきた。今日では当時と異なる課題を念頭に置いた協働が求められており、ご一緒に考えていきたい。

## (2)刈谷市共存・協働のまちづくり推進委員会について

### ア 基本方針

#### ■【資料1】を提示し、共存・協働のまちづくり推進基本方針について事務局が説明

##### (共存・協働のまちづくり推進基本方針)

- ・共存・協働のまちづくりは、平成21年2月に策定された基本方針に基づいて推進する。
- ・共存・協働のまちづくりとは、市民、地域団体、市民活動団体、事業者、教育機関等、行政が主体となり、対話、理解、共感を大切にしながら、社会的課題に取り組むこと。
- ・市民が主体的に生きることができ、さまざまな人や組織がつながりあうことで、まちの課題を自分ごとと感じる市民が増え、活動する人の輪が広がることを目指す。子育てや介護などにおいて家族や隣近所の結びつきが弱まり、地域の力が重要になっていることから、共存・協働のまちづくりがさらに求められる。
- ・共存・協働のまちづくりを推進するうえでの6つの重点課題である人材育成、情報、場所、財政支援、行政サービスへの市民参画、団体同士・異なる主体との交流・協力について、様々な取り組みを実施する。
- ・推進委員会では、各主体の関係者からお互いの力を活かしあい、基本方針に掲げる取組や新たなまちづくりの課題について、改善や方策を進める。

#### ■質問・意見交換

- ・質問・意見はなし。

### イ 運営体制

#### ■【資料2—1、2—1別添、2—2、2—3】を提示し、共存・協働のまちづくり推進委員会の運営体制、各部会で協議する内容について事務局が説明

##### (資料2-1/共存・協働のまちづくり推進委員会の運営体制および委員名簿裏面)

- ・共存・協働のまちづくりを進める各主体の関係者を委員として設置。16名で組織し、任期は2年。
- ・全体会と、その下に個別の施策に取り組む2つの専門部会を設ける。委員は全体会のほか、いずれかの部会に属する(委員名簿裏面参照)。
- ・夢ファンド部会では、かりや夢ファンド補助金の活用拡大について検討するほか、審査員として、書類審査、公開審査会でのプレゼンテーションを審査し、採否を決定する。

##### (資料2-2/かりや夢ファンド補助金紹介資料)

- ・市民主体で自主的に行う活動を応援する補助金制度。まちづくり活動支援、NPO法人設立支援、まちづくりびと支援の3つのメニューがある。
- ・市民や企業からの寄付金と同額を市が積み立てるマッチングギフト方式による市民活動支援基金を財源とする。
- ・まちづくり活動支援、NPO法人設立支援は、7月18日から募集開始予定。夢ファンド部会での審査を経て、交付を決定し、活動対象期間は来年度1年間。まちづくりびと支援は通年募集。

##### (資料2-3/まちコ派遣紹介資料)

- ・各主体同士の効果的なつながりを促す目的でまちづくりコーディネーター(以下、まちコ)の登録制度を設置。地域活動・市民活動に2年以上携わる方、仕事としてコーディネート業務を行う方、つなぎの学び舎・実践編の修了者が登録する。
- ・まちづくりを自分ごとととらえて活動する人が増えるようまちのお世話役として、地域や市民団体から依頼

を受け、会議のファシリテーションや当日進行のお手伝いを行う。解決のために取り組んでいきたい人や団体と一緒に考え、応援する役割であって、困りごとをなんでも解決する役割ではない。

- 原則2人1組の活動としており、派遣にかかる必要経費は依頼者負担とする。

#### (資料2-1 別添／(旧)コーディネーター部会の方向性について)

- 地域活動の担い手不足やコロナ禍による地域イベント中止など、従来からの手法のみで地域活動の展開が難しい状況にある。まちコや市民活動団体と地域活動において、得意と困りごとが結び付き、よりよい活動に向かう方策を協議する。
- 地域課題への対応に協力できることの洗い出し、団体の企画運営の話し合いのサポートなど、具体的な協議を進める。
- 部会の名称についても本日の協議にて決定する。

### ■部会の名称について、意見交換・協議

#### 【部会の名称案について】

委員長：部会名称について、活動する皆さん自身が使いたい名称を考えていきたい。

委員：「活動応援部会」が分かりやすくてよいのでは。

委員：「活動」とは何か明確にするとよいが、「まちづくり活動応援部会」とすると長い。三河弁を使い「まちづくりん部会」はいいか。

委員長：取り組むことは「まちづくり」であるが、「まちづくりん」は意気込みを一言で表現しているように感じられる。

#### 【地域活動の現場とは】

委員：地域活動の「現場」で、「方策を検討する」とは、誰か検討するのか。まちコが現場に出かけてお手伝いすることか。

事務局：自治会をはじめとするまちづくり活動の担い手が主体的に活動していくうえで、促進する手立て等を検討する。

委員：従来のまちコの派遣活動はどのように展開されるか。

事務局：引き続き継続する。

### ◎隣同士で意見交換した後、良いと思う部会名について発言

委員：「まちづくりん部会」は、まちコも地域も応援する意図があってよい。

委員：「まちづくりん部会」がよい。ひらがなが柔らかく子どもにも分かるのでよい。

委員：まちづくり活動に関係する人でなくても、一目で誰でもわかるような、柔らかい語感がよいので、「まちづくりん部会」がよい。

委員：「まちづくりん部会」がよい。

委員：「まちづくりん部会」に賛成する。

委員：「まちづくりん部会」がよい、まちづくりコーディネーターに代わる名称として使われるのか、単なる部会の名称か。

事務局：部会名として活用する。まちコの名称変更は考えておらず、さらなる浸透を図りたいと考えている。

委員：「まちコ」を浸透させるため、まちコもしくはまちづくりコーディネーターの名称が入っているとよい。

委員：「まちづくり支援部会」が取り組もうとしていることを表してよい。

委員：「まちづくりん」だと一緒にやっという雰囲気がある。

委員：「りん」は三河弁で親しみやすいのでよい。

### ◎協議の結果、部会名を「まちづくりん部会」とすることを決定した。

委員：「まちづくりん」は言いやすく、地域の言葉として浸透していくとよい。

## ■その他、意見交換

### 【まちコのあり方について】

委員：まちコの将来の姿として、いずれ一つの団体を結成して活動支援に取り組むことが議論されたこともある。自分たちの活動がどんなふうに関谷のまちづくりに貢献するとよいか、まちコ自身が考える機会を設けてはどうか。自分たちでこうありたいと考えることが必要で、それができないとまちづくりコーディネーターは務まらないのではないかと。彼らに期待を寄せている。  
まちコとボラセンが連携をとることが大事であるが、実際にはまだ取り組めていない。まちづくりに対して、まちコの人たちと一緒に一つの姿を考えたい。

### 【まちコの活躍にむけて】

委員：世話人としてゼミを担当。住民会議のファシリテーター以外へ活動を広げることが課題と考え、広報をテーマにゼミを開始したところ、コロナ禍により取材できる活動がなくなった。方針変更し、まちコ個人の活動にスポットを当て、まちコ内の横のつながりを深くする取り組みをしている。ボラセンとの取組は今から進められるとよい。まちコ自身の活動を情報共有しながら、自分たちが何ができるか、話を進めていきたい。まちコ自身が運営を考える機会となっていくとよい。  
今年限りでゼミの形を終了し、まちコにスポットを当てたゼミに変えていきたい。次回委員会で進捗報告したい。

委員：世話人としてゼミを担当。まちコの活躍の場として、元気交付金を申請する時の住民会議のお手伝いがあった。派遣依頼を受けた折に、地区の人はアイデアがもらえることに期待したが、まちコはファシリテーターとしての役割に徹したというズレが生じたことがあった。そこで、コーディネーションのスキルを高めるゼミ活動を展開した。（資料2-3）まちコ紹介ちらしに「企画会議」が加わった点はうれしい変化である。市民ボランティア活動センターと一緒にやっていけたらよい。

### 【夢ファンド採択事業の活動】

委員：まちづくり活動支援は最大2年を上限に行われている。その活動の3年目以後はどうなっているか。活動を止めている団体もあるのではないかと。継続している活動が多いならば、今の補助金のあり方を続けることでよい。

事務局：補助終了後、2～3年後の活動状況は把握していない。調査をする必要がある。

委員：近年の活動を対象に、活動状況を把握できるとよい。それを基に支援のあり方を検討できるとよい。

### 【夢ファンドのしくみ検討の機会】

委員：夢ファンド部会では、7月から募集開始、審査を経て、翌年1年間を対象に活動する。募集要項、プログラムなど運営方法、選考基準などに関して、改善の議論はどのタイミングになるか。部会の役割としては、仕組みについての権限はなく、審査を務める役割か。

事務局：NPO法人設立支援、まちづくり活動支援は基本的に翌年度事業を対象とする。まちづくりびと支援は、当該年度での申請及び補助。制度の見直しに関しては、検討が必要な内容により、タイミングが異なる。採択団体の調査など部会で検討する過程で、その他制度の変更などご意見があれば、見直しを行う。

委員長：部会でやるべきことにとどまらず、委員の皆さんが知りたいこと、議論したいことについて自由に議論できる場としたい。よりよい制度・しくみがあれば、変えていくこととしてご意見をいただきたい。

### 【活動継続をまちコによる伴走支援で後押し】

委員：夢ファンド活用事業のお手伝いをしたことがある。より大きな事業に取り組めて、共感する仲間が増えた。今年6回目を開催するが、毎年開催できているのは、共感する仲間がいたから。打ち上げ花火のように終わってしまったケースもあり、理由を聞くと、予算がない、協力してくれる人がいない、

どこに頼っていいかわからないなどがある。2年間夢ファンドで支えて、その後、まちコが支える役を担っていけたら、長く継続してファンド事業が成功するカギになる。「その後どう？」と声をかけていく役割をまちコが担うことで、活動が継続できるのではないか。

委員：夢ファンドで行った活動は、ファンドレポートの取材を受けて、ちらしで紹介されている。活動は単発で終わる結果となった。コロナの影響もあったが、続けていくのはしんどい面もあった。地域の活動を知らず右も左もわからない状況であったため、伴走支援など支えてくれる人がいるとよい。自分もまちコであり、若い世代の活動を支えたり、制度を活用する人・団体を広げていきたい。

#### 【活動内容に沿った継続性を考える】

委員：まちづくりの活動について、永遠的に取り組むこととはどういう意味があるのか考えてみるとよいのでは。たとえば、おもちゃ病院の活動は永遠に、継続して取り組む活動と考えている。しかし、それは活動の中身によって異なり、2～3回で終了する活動もあり得る。活動をいつまで続けるか考える場合、資金がない、仲間がない、といった理由は考えられる。それをどのように集めるのか。NPO法人設立支援の場合は、法人を設立するのであれば、活動を継続して取り組まれるものであり、単発の活動ではないと考える。

委員長：まちづくりは、企画相談や資金調達、仲間づくりなどの取組から始まり、その段階では、活動をやりたい、長く続けるかどうかはまだ考えていないことも多い。やりがいがあって成果が出ると、長く続けることもしてみたいとなる。そのためにどういう組織づくりが必要か、選択肢の一つとしてNPO法人がある。そのために重要なものは人材。といったように、夢ファンドは、団体の成長段階を追って支援の枠組みがうまく組み立てられている。その過程は活動団体やまちコの皆さんが活動の中で感じている点に重なる。部会にて積極的に話題にしていきたい。

### (3)今年度のスケジュール

#### ■【資料4】を提示し、事務局より説明

(共存・協働のまちづくり推進委員会開催予定)

##### 【推進委員会】

- ・第2回 令和5年10月18日(水) 14時00分～15時30分
- ・第3回 令和6年3月19日(火) 14時00分～15時30分

##### 【夢ファンド部会】

- ・第1回 令和5年6月26日(月) 10時00分～11時30分
- ・第2回 令和5年11月13日(月) 14時00分～16時00分
- ・第3回(公開審査会) 令和6年1月13日(土) 終日 ※応募団体数により開催時間を調整する。

##### 【まちづくりん部会】

- ・第1回 令和5年8月23日(水) 14時00分～15時30分
- ・第2回 令和6年1月22日(月) 14時30分～16時00分

以上